

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

6

2015
JUNE

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



第31回定時総会開催

事業承継 何を託し何を受け継ぐのか

支部総会報告

第21回さくらんぼ支部総会

第29回寒河江支部総会

新庄最上支部設立総会のご案内

山形同友会
創立30周年！
より地域に
必要な存在へ！！

2015年度スローガン

事業承継 何を託し何を受け継ぐのか

山形同友会は、4月23日、ホテルメトロポリタン山形において、第31回定時総会を開催しました。1985年6月に創立した山形同友会は30周年を迎え、創立30周年記念事業の第1弾として取り組まれ、第2部記念講演には、来賓の方をはじめ、会員、社員、ゲストの方220名が参加しました。



第1部定時総会は、西塔代表理事の開会宣言で始まりました。スローガン「山形同友会創立30周年！より地域に必要な存在へ！！」を掲げ、4つの重点方針を決定し、「人を生かす経営」の取り組みをいっそう発展させ、地域になくてはならない企業づくり、500名会勢をめざして活動を進めていきます。その先頭に立つ31名の理事と2名の会計幹事が選出されました。

また、2017年消費税増税対応、中同協分担金アップに対応し、健全財政と今後の同友会の発展のための会費改定案が提案され、満場一致で承認されました。会費改定は2016年4月から実施され、月会費6千円となります。

他に山形同友会規約改正案、新たに役員選考規程が承認されました。

第2部記念講演は、事業承継をテーマに、伸電の創業者である原田取締役と8年前に社員から事業承継した佐藤社長が講演。

はじめに演壇にたったのは原田取締役。創業精神の一つ世襲性をとらないことを貫き、人生はマラソン、事業は駅伝に例え、事業承継で手渡すバトンは何なのかと問いかけ、伸電のバトンは「労使見解」と断言しました。継がす側の条件として、社内、お客、協力会社、メーカー、金融機関のコンセンサスを取ることを挙げました。

経営者だけでなく、社内においていくつもの段階で承継があると指摘し、何よりも継ぎたくなる会社づくりが大事だと強調しました。

佐藤社長は、入社時の14年前を振り返り、「この人なら人生を共にできると直感した」と原田氏の印象を語ります。

就任までの時期(バトンゾーン)の10年間で、組織が崩壊するのは内部からと社内組織づくりに力をいれ、会社はみんなの会社であり、誰もが経営者になれる仕組みをつくったといいます。

事業承継で大切なことに現状認識、計画、時間、決心をあげ、会社経営はゴールのないムカデ競争による駅



2015年度 役員

(敬称略)



伝だとまとめ、なぜ事業承継が必要なのか、何のために誰のための企業なのかを問う講演となりました。

引き続き行われたグループ討論では、継がせる側、継ぐ側の立場から、何を託し、何を受け継ぐのかと議論を深めました。

第3部懇親会で、来賓を代表して吉村美栄子・山形県知事は、県の元気プロジェクトを紹介しながら「山形県は99.9%が中小企業。中小企業の元気が山形県の活力につながります」と激励の挨拶を述べました。

30周年記念事業の実行委員長をつとめる菅原茂秋氏より、「連帯」「発展」をイメージした30周年のロゴマークが紹介されました。今年、周年事業として11月19～20日に、第27回社員教育活動全国研修・交流会、2016年1月23日に30周年記念式典を開催します。



会内役職	氏名	企業名
●理事		
相談役理事	川合勝芳	㈱ 曙 印 刷
代表理事	西塔秀幸	社会保険労務士法人 西塔事務所
副代表理事	青柳 等	やまがたシティエフエム㈱
副代表理事	後藤智樹	寒河江物流 ㈱
副代表理事	菅原茂秋	㈱ ティスコ運輸
専務理事	齋藤志直	しなお経営事務所
理事	菊池幸生	㈱ 菊池技建
理事	阿部和人	田宮印刷 ㈱
理事	小林敏郎	㈱朝日測量設計事務所
理事	越前屋忍	(有)アド・プランニング越前屋
理事	大場賢二	大場印刷 ㈱
理事	奥山正樹	(有)グローバル物流
理事	高橋 明	(有)グッピー園
理事	安藤昌則	㈱ アドクリーン
理事	玉津弘之	㈱ タ マ ツ
理事	佐藤一夫	㈱ エム・エス・アイ
理事	白鳥明美	(有)東住宅産業
理事	佐藤卓弥	さとう農園 ㈱
理事	阿部秀顕	㈱山形ピッグファーム
理事	伊藤 誠	城北電気工事 ㈱
理事	金田史生	(有)山形E旅
理事	阿部 敦	(有)若葉建築
理事	若木義寛	若木社会保険労務士事務所
理事	水沢正志	㈱ アイ・タックル
理事	及川忠幸	(有)東根給食センター
理事	長澤 武	㈱ 長 沢 建 設
理事	佐藤松雄	テン・ソフトウェア ㈱
理事	庄司 薫	㈱菓子工房COCOイズミヤ
理事	佐藤知志	(有)大山ボデー
理事	工藤規行	㈱ 工 藤
理事	伊藤由紀子	山形県中小企業家同友会
●会計監査		
会計監事	奥山 享	(有)奥山経営センター
会計監事	半澤清彦	(有)半澤鶏卵

第21回さくらんぼ支部総会

企業づくり、支部づくり、地域づくり 実践元年！

さくらんぼ支部は1995年7月に誕生し、今年で20周年を迎えます。5月7日に、記念総会としてタントクルセンターにて開催され、会員、社員、ゲストを含め47名が出席しました。

第1部支部総会では、①地域になくてはならない企業をめざそう(企業づくり)、②同友会理念を共有し、企業同士、手を組もう(支部づくり)③地域資源を掘り起し、経営に活かそう(地域づくり)の3つの重点方針を決定し、支部長に水沢正志氏(再任)、副支部長に武内賢二氏(新)、菊地仁士氏(新)と支部幹事11名を選出しました。

さくらんぼ支部は、過去に会員数が激減し、例会も数人しか集まらないという時期がありました。経営を語り合える例会や仕事の連携など粘り強い活動でその危機を乗り越え、明るく元気な支部へと変わり、仲間も増えています。2015年度は実践元年とし、さらに成果につながる活動をしていきます。



住民が自治体を選ぶ時代を生き抜くために

第2部は、創立20周年を記念して、講師に東根市長土田正剛氏を迎え盛大に開催。「住民が自治体を選ぶ時代を生き抜くために」の演題で、政治家として挫折の経験にも触れ、17年間の市政の取り組みを講演。1年間に約1万人の人口が減っている山形県で唯一人口が増えている東根市、地方創生の一環として教育政策や若者定住政策、インフラ政策などをお話ししていただきました。

「子育てするなら東根市に」の子育て支援等の取り組みでは、医療費無料化は親の経済的負担の軽減になるが、子どもが心身共に健全に成長するための施策が重要と強調。また、地域の産婦人科医が山形市と同人口の

ところに5人しかいない現状を紹介し、若者が地方に生きる場所を作るためにも、安心して子どもを産める環境が必要だといえます。

「小学校は地域のシンボル。生徒数が少なくなるとすぐ合併。これを認めるな」と教育で人を呼ぶ政策への思いを語ります。

自治体が市民から選ばれる時代だとし、市長は民間の経営者の感覚が必要で、経営者と仕事は同じ。一緒にがんばっていきましょうと述べ、市政においても明確なビジョンを持ち、人を呼びよせる戦略に参加者の共感を呼びました。

第3部懇親会では、初代支部長黒沼氏、2代目伊藤氏、3代目及川氏、4代目の水沢氏が紹介され、20年の歴史を振り返り、和やかに交流を深めました。



第29回寒河江支部総会

鳥類型経営に学び、道を拓こう

2015年度を迎えて県内の各支部では、相次いで支部総会が開かれています。寒河江支部では5月15日に第29回寒河江支部総会をホテルシンフォニーに於いて開催しました。当日はゲストを含め40名が参加し、新年度のスタートをきりました。

支部総会では2014年度活動報告が承認された後、役員15名が選出され、新支部長に阿部敦氏、副支部長に海野秀明氏、齊藤貴裕氏、水戸部厚史氏が決まりました。

引き続き、阿部新支部長が「道を拓くために 学ぶ。気づく。挑む。」をスローガンに「学ぶ企業づくり」「よりどころとなる支部づくり」「全員が参加する例会づくり」「学びを深める幹事会づくり」「新たな学びに出会う全県行事、全国行事への参加」という五つの方針を提案し承認されました。



なくてはならない企業

記念講演では「鳥類型経営 世界が認めるものづくりの力」と題して(株)朝日相扶製作所 阿部佳孝社長が講演しました。

(株)朝日相扶製作所は農業が主要産業の朝日町で冬の出稼ぎ対策と雇用創出のために1970年に創業。創業者は現会長で阿部氏の祖父にあたります。社名の相扶は「相互扶助」を意味し、地域・お客様・自身と家族にとってなくてはならない企業を基本としてきました。創業時は事務用椅子のカバーの縫製を行っていましたが、オイルショックで倒産の危機に陥った時、もっと付加価値がある木工家具の製造へ転換しました。

2005年、阿部氏は社長の急逝で部下を持った経験がなのまま四代目の社長に就任。迷った時には創業者が会社の考え方をまとめた「思考と行動の指針」という本を確認してきました。この本は入社した全ての社員に配られ、会社の考え方を共有しています。

かつて、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックと危機に見舞われましたが、創業の精神を大切に一度

も従業員を首切りしたことはありません。どうすればできるのかを常に考えて乗り越えてきました。

鳥類型経営

同社がめざすのは「鳥類型経営」です。阿部氏は「鳥はおいしい餌のある所に飛んでくる。当社にしかできない品質・技術・コスト・納期があるならば、それを必要とするお客様が飛んで来てくれる。我々はサービス業と考え日々磨いている」と述べました。

その上で、100%OEM生産(自社ブランドを持たないことはお客様とライバルにならないので安心して仕事が出せて日本全国・海外からも仕事の依頼がある)、多品種少量生産(家具の最低ロットは300台だったが独自の棚前制度によって1台からの注文に木・塗装・張地も選べる対応とエンドユーザーまで配送できる)、ジャストインタイム生産(必要なものを必要な時に必要な所へ届ける。最短四日で届けることができる)という特徴を挙げました。

かつて自社ブランドもあった同社ですが、売り方が分からずカタログの山となった経験から、つくことに徹しようとして人・モノ・金の経営資源を全て製造に注ぎ込み、方向転換を図りました。そして、新たな技術や製法に挑戦してきた結果、デンマークのワン・コレクション社から依頼があり、NY国連本部ビル信託統治理事会議場の椅子260脚を製作することになったといいます。

最後に阿部氏は「これからは鳥類型経営をめざし、朝日町でものづくりに徹していきたい」と力強く語り、会場は大きな拍手で包まれました。

新庄最上支部設立決定!!

新庄最上支部設立総会のご案内

記念講演

テーマ「山形同友会創立30周年!より地域に必要な存在へ!!」

講師:やまがたシティエフエム株式会社 代表取締役 青柳 等氏

昨年度から中小企業家同友会の理念を共有し、企業と地域社会の発展に取り組む仲間を広げたいという思いから、新庄最上支部の立ち上げに取り組んできました。

昨年7月にプロジェクトを立ち上げ、11月から毎月準備会例会を重ねてきました。4月の準備会例会では、(株)山形ビッグファーム阿部社長に、地域から必要とされる企業について学び合いました。参加者からは「地域に必要なとされる企業は、社員の誇りに繋がることを学んだ」「顧客サービスや社員共育が、その家族や知人にも繋がることに気づいた」等の感想が寄せられました。

このような準備会例会や訪問を重ねることで、同友会への理解が地域の方々へ着実に広がり、満を持してよいよ新庄最上支部を設立することが決まりました。

記念講演では、山形同友会副代表理事でもある、やまがたシティエフエム株式会社 代表取締役 青柳等氏に、同友会の歴史や理念、山形同友会の取り組みやビジョン、そして同友会で自社がどう変わったかを講演いただきます。

是非とも会員の皆様にご参加をいただき、新しい支部の誕生を祝し、新しい仲間と交流を深めていただければと存じます。皆さまのご参加をお待ちしております。

日時:2015年6月24日(水) 17:00開会

場所:リヴィントン 新庄市金沢1073-2 ☎0233-22-1162

第47回定時総会 IN 岩手 全国総会へ行こう!

中小企業家同友会全国協議会第47回定時総会が7月9、10日に盛岡市で開かれます。全国総会は各地の運動の経験を集約・教訓化し各地に還すとともに、全国の会員企業の優れた経営実践から学ぶ場です。一日目は議案提案が行われた後、「情勢認識・日本経済・地域経済」「企業づくり」「地域づくり・経営環境改善」「同友会づくり」「見学」の категорияで16の分科会が行われます。

11月には社員教育活動全国研修交流会が山形で開かれます。そのPRを兼ねて参加し、全国の仲間と学び合い、交流を深めましょう。



日時

2015年

7月9日(木) 13:30~
10日(金) 12:00

会場

マリオス・盛岡地域交流センター

参加費:20,000円(懇親会費含・宿泊費別)

*交通と宿泊について下記のプランを準備しています
プレミアムバス代
11,000円(20名利用の場合)山形発午前8時予定
宿泊代
7,400円(盛岡ニューシティホテル)、
6,300円(ホテルパールシティ盛岡)

参加申込み、お問い合わせは、山形同友会事務局までご連絡ください。

6月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

置賜支部

未来を見すえ活路を見出す！ ～ドライバー不足10万人の時代に備え～

2015.6.17(水)18:30～

場所：伝国の社

米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8000

報告者：寒河江物流(株) 代表取締役 後藤智樹氏

2017年消費税10%、2020年7月東京オリンピック開幕、高齢化、人材不足、年金問題に対応した雇用状況、2013年に65歳まで再雇用となったが、2023年頃には更なる延長の可能性…。このような変化が確実に来る時代、現在すでに物流業界もその流れを受けて過去の手法では対応できない状況になってきています。価格競争に陥り、燃料費も上昇！不人気な業種となり、即戦力のドライバーも集まらない。そんな時に限って大きな問題も起こるもの。行政の指導で昔のように長時間の労働ができない。仕事はあるが働かせられない！仕事したいけど働けない！さあ、どうしよう？未来を見すえ、経営戦略をたて、問題を乗り越え、そして今のような準備をしているのか？必ず自社に持ち帰り、改善することができるエッセンスが満載です。何を差し置いても参加することが同友会メンバーの優先順位でしょう！未来に向けて進化しましょう！

寒河江支部

自社の会議の活性化を考えよう

2015.6.29(月) 19:00～21:00

場所：寒河江市技術交流プラザ

寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者：田宮印刷(株) 常務取締役 阿部和人氏

会社ではいろいろな目的で会議やミーティングが行われています。あなたの会社ではメンバーが活発に意見を交わして意思決定し、行動していますか？誰も意見を言わずに沈黙が流れるといったことはありませんか？グループ討論を社内に活用することは、「社内における問題の本質をつかむことができるようになる」「社員とのビジネスコミュニケーションのレベルアップ」につながり、リーダーシップの訓練になります。また、社員が「考える」「考えさせる」という訓練をすることで、質問力を向上させ、自主性が発揮できる環境づくりにも取り組めます。

寒河江支部6月例会では阿部常務を報告者に迎え、グループ討論のスキルアップをめざします。この機会にグループ討論について学び合い、自社の会議の活性化を図りましょう。

山形支部

未来へ向けた新しい仕事づくりへ本気の挑戦 ～自身の未熟さへの気づきと決断の重要性～

2015.6.18(木) 18:30～

場所：山形ビッグウイング 4F 研修室

山形市平久保100 ☎023-635-3100

報告者：(株)ダンケ 専務取締役 浅野裕幸氏

不動産賃貸管理業を母が、飲食業を浅野氏がそれぞれ別会社で経営していました。時代の流れもあり売上が伸び悩んでいた時、管理していた物件を所有することになります。もともと介護事業への思いを母が持っていたことから経営資源を生かそうと4年前に介護事業に参入。しかしながら、不動産と飲食と介護事業の準備、それぞれに経営資源が分散し、徐々に経営状況が悪化。

いそがしさから相談する時間もない毎日。そんな中、車で一緒に移動する機会が訪れ、2人は長年やっていた飲食業をやめることを決断。二つの事業を一つの会社にまとめ、母が社長、浅野氏が専務に。この4年間さまざまな危機があったと語る浅野氏。それは、新規事業ゆえの経験不足、準備不足、自分の未熟さが原因だったとのこと。新規事業へ挑戦する中での苦悩や気づきを浅野専務に語っていただきます。

さくらんぼ支部

楽しく働こう！スマイルワークプロジェクト ～(株)たかきと社員みなさんの明るい未来のために～

2015.6.29(月) 18:30～21:00

場所：タントクルセンター 2Fミーティングルーム

東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者：(株)たかき 代表取締役 高木康典氏

突然、現会長(父)と前社長(兄)に社長になってくれと頼まれ、2010年に事業承継をしました。初めの3年間は、何をしたらいいのかわからず、数字合わせの経営だったといいます。変わるきっかけは、同友会での経営指針づくり。家業から企業経営をめざしたものの改善が進まず、経営理念を言っても伝わりません。退職や残業時間が増え、社員からはいつも「疲れた」「時間がない」との声が…。

とにかく理念を伝えたい思いで、幹部社員による「経営指針をつくる会」を始めました。そして、今の労働環境では、社員、会社ともにリスクが伴うと取り組んだのが「スマイルワークプロジェクト」です。現在進行形ですが、「残業時間＝がんばり」「早く帰る＝罪悪感」の意識が改善され、残業時間や「疲れた」の声も減り、社員が生き生きと働いています。働き甲斐のある楽しい職場づくりに、本気で取り組んでいる高木社長の実践報告に学びあいます。

庄内支部

2015.6.17(水) 18:30～

場所：鶴岡市総合保健福祉センター『にこ♥ふる』

鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者：(株)A.C.ROSSO 代表取締役 高橋誠輝氏

※詳細については後日ご案内します。

第2回理事会報告

◆日時: 5月13日(木)午後2時~午後4時 ◆会場: ビッグウイング402会議室 ◆議長: 後藤副代表理事
◆出席: 青柳等、阿部和人、阿部秀顕、伊藤誠、越前屋忍、大場賢二、金田史生、川合勝芳、菊地幸生、小林敏郎、後藤智樹、西塔秀幸、齋藤志直、庄司薫、玉津弘之、若木義寛(敬称略)(事務局)伊藤由紀子、矢作聖子、高橋徹 19名

■開会挨拶(西塔代表理事)

はじめに5/12に中同協議案作成会議の報告があり、議案書が6/5付の中小企業家しんぶんに掲載されることを紹介した。「新しく4名の理事を迎え、今回が実質第1回目の理事会。理事は主体者として、積極的な議論をしていこう」と述べた。続いて、「同友会運動発展のために」の同友会事務局のあり方(p.24~25)を説明した。

■確認事項

1) 理事会の目標

- ① 同友会がめざす企業づくり(2015年度方針、労使見解・経営指針・社員共育・共同求人)の先頭に立ちます。
- ② 同友会理念を体系的に学び、同友会型企業づくりを実践するリーダーをめざします。
- ③ 組織運営を「自主・民主・連帯の精神」を基本とします。
- ④ 500名達成の先頭に立ちます。(理事:1年間に2名の入会者)
- ⑤ 中同協全国行事に、年1回以上参加し、全国の同友会と交流を図り、山形同友会に持ち帰り、活性化に繋げていきます。

2) 理事会議長は、副代表理事が持ち回りで担当します。

■報告事項

- 1) 伊藤実行委員長が第31回定時総会について報告。各支部の奮闘により、参加目標を達成し、記念講演・グループ討論で事業継承の深い学びができたこと御礼を述べました。
全体総括、収支報告は、実行委員会ですと、6月理事会に提案する。
- 2) 2015年度山形大学とのインターンシップの取り組みについて、玉津理事が報告。
今年度の低学年インターンシップの履修者は28名で、受け入れ企業を6月に確定し、8/10~9/29の期間で3日間の実習を予定している。7月の会社説明会で、「中小企業の魅力」を伝える講演依頼があり、共同求人委員会で対応する。
- 3) 30周年記念事業の取り組み状況、川合相談役理事が報告。
30周年のロゴマークの完成、記念式典の準備、500名会勢目標について説明をした。
- 4) 第27回社員教育活動全国研修・交流会の取り組みについて、阿部(和)理事が報告。
 - ① 開催要項、メインテーマ、開催目的について
・日時: 11月19日(木)13:00~20日(金)12:00
・会場: ホテルメトロポリタン山形
・参加費: 13,000円(宿泊費別)
 - ② 5/15に中同協において、記念講演の講師との打ち合わせを予定している。
- 5) 理事名刺作成について、事務局で作成することとなった。
- 6) 2015年度4月月次決算報告

■承認事項(入・退会承認) 4名入会6名退会 5/13現在会員数 420名

■討議事項

議題1: 2015年度組織強化の取り組みについて

高橋事務局次長が、組織委員会の活動方針、各支部の増強目標数の説明をし、500名達成の具体的な活動提案があり承認された。

【具体的な活動】

- ① 増強デー(毎月第3水曜日)
- ② 増強月間(7月・10月・12月)
- ③ 新会員オリエンテーション(毎月開催)
- ④ 増強ツールの活用 (HPの更新)
- ⑤ 新庄最上支部のフォロー

議題2: 新庄最上支部立ち上げについて

新庄最上支部設立プロジェクトリーダーの齋藤氏より、会員数や支部設立の取り組み状況の報告があった。20名の会員で支部総会の開催を予定しており、会員増強等の支援依頼も予定している。設立総会は、6月24日に決定。

議題3: 2015年度役員研修会について

西塔代表理事より、開催要項が提案され承認された。

1) 開催目的

- ① 時代の変化、情勢を掴み、今後の課題と展望を共有します。
- ② 同友会の歴史・理念の学習を深め、同友会の活動を企業づくりに活かしていきます。(同友会理念の語り部、体现者をめざす)

2) 開催日程

- 日時: 7月28日(火)13:30~17:00 終了後に懇親会を予定
- 会場: 山形県産業創造支援センター
- 講師: 中同協 幹事長 広浜泰久氏
- 参加対象: 理事、各委員会、部会、支部役員 → 約30~40名

議題4: 例会のありかたについて

西塔代表理事より提案があり、例会の開会時間、グループ討論の人数については各支部で検討することになった。

*現在の例会の運営について

- ① 支部方針に則り、年間例会計画(報告者、座長、室長等)を立てる。
- ② 基本として、3ヶ月前から準備を進める。企業変革支援プログラムを活用し、経営課題を明確にする。
- ③ 例会企画書(報告テーマ、例会学び、G討論テーマ)を幹事会で検討する。
- ④ 例会終了後に翌月幹事会でまとめる。

議題5: 中同協全国総会(7/9~10岩手)の取り組み

西塔代表理事より提案があり、1月山形で開催される第27回社全交の宣伝もあり、地方開催が最後となる岩手総会に、20名の目標で参加することが決定した。また、大型バスを利用することが決定した。

■経営体験報告

- 報告: 榎朝日測量設計事務所 代表取締役 小林敏郎氏
座長: 阿部和人氏
*次回報告者(敬称略) 大場賢二氏

■第3回理事会日程

- 日時: 6月10日(水)午後2時~午後4時
- 会場: 産業創造支援センター

■開会挨拶(青柳副代表理事)

支部・会員名・企業名・役職変更

- 夢屋台 ゆりあ(山形支部)
代表 齋藤 潤氏
⇒ 夢屋台 楽楽楽 に変更

- 株式会社ステップアップコミュニケーションズ(山形支部)
取締役 豊田 将氏
⇒ 取締役 高橋 諭氏 に変更



新会員紹介

◎李 麻高氏

(有)光山
業種 資産管理・農業
山形支部

◎青山 共美氏

(株)ライフケアサポート 代表取締役
業種 介護用品・福祉用具のレンタル、製造、販売
さくらんぼ支部

◎佐藤 道幸氏

フルーツサトー
業種 農作物生産販売業
寒河江支部

◎島軒 和治氏

(株)スペース・アイ 代表取締役
業種 電子機器設計製造
置賜支部

同友やまがた6月号(2015年6月1日発行/通巻267号)

From Editor

★休日のお昼、近くのお蕎麦屋さんに行った。お客さんの県外ナンバーの車が多く、観光地に住んでいることをこんな時に実感する。子どもや家族連れが大半で、賑やかな中にちょっと離れたテーブルの50代ぐらいの夫婦が気になった。ガイドブックを見ている奥さん、スマホを手にしながら冷酒を手酌で楽しんでいる旦那さん。まったく会話がないう。★我が家も同じようなことをしているなと反省する。何時からだろう、日常生活で手放せなくなったのは。人類はすごいものを作ったものだと思う。家の固定電話も使わなくなり、デジカメの出番も激減した。いや、全く必要性を感じない。辛うじて、新聞だけは購読しているが、世の中は新聞購読者が減っているという。地元紙の夕刊がなくなってしばらく経つ。★向

田邦子のエッセーに「新聞紙」がある。配達された日のものを「シンブン」と呼び、日付が変わると「シンブンシ」、3日から1週間たったものを「シンブンガミ」と区分し差別しているという。家の中で新聞を読む順番も決まっており、読み手により置き場所が次々と変わる。1日の終わりにはインクの匂いが生活の匂いになり、回収袋に収まり次の出番を待つ。★小さなその機械は偉大である。いつでもどこでも誰とでもつながる。情報は正しいかどうかは別として、瞬時に得ることができ、SNSで会った時のない人の私生活まで見てしまう。新聞代以上のお金を掛け、新聞や本を読む時間や目の前の家族や友人との会話を徐々に奪っていないか。何か大切なものを失っていないだろうか。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp